

2026年2月期第2026年2月期第2026年2月期決算補足説明資料

株式会社ハブ 2025年10月14日

業績サマリP/L (前年同期比較)



(単位:百万円)

					2025年2月期	2026年2月期		
					第2四半期実績 (売上高比)	第2四半期実績 (売上高比)	前年差 (売上高比差) 	前年比
売		上		高	5,432	5,689	257	104.7%
1		売	上 原	価	1,600	1,696	96	106.0%
		原	価	率	29.5%	29.8%	0.3P	_
販う	売費及	びー	·般管理	費	3,605	3,730	125	103.5%
 営	 業		 利	益	275	309	34	112.2%
白	白 木		ربر) <u>ست</u>		(5.1%)	(5.4%)	(0.3P)	
√ ∇	冶		4 11) (265	302	37	114.0%
経	常		利	益	(4.9%)	(5.3%)	(0.4P)	
特	別		利	益	_	_	_	_
特	別		損	失	_	_	_	_
法	人和		等 合	計	13	9	4	
中	間	純	利	益	252 (4.6%)	293 (5.2%)	41 (0.6P)	116.3%

業績サマリP/L (第2四半期計画比較)



(単位:百万円)

					2026年2月期 第2四半期計画 (売上高比)	2026年 2 月期 第 2 四半期実績 (売上高比)	計画差 (売上高比差)	通期予想 進捗率
売		上		高	5,700	5,689	▲ 11	50.4%
 営	業		利	益	290 (5.1%)	309 (5.4%)	19 (0.3P)	65.8%
	常		利	益	280 (4.9%)	302 (5.3%)	22 (0.4P)	67.3%
中	間	純	利	益	260 (4.6%)	293 (5.2%)	33 (0.6P)	69.8%



既存店売上高は前年比102.1%であるものの、4月・6月・7月においては前年イベントとの集客効果差が客数前年割れの要因となった

【全店実績の対前年比較】

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	上期
売上高(%)	107.6	107.0	109.9	98.8	99.4	105.6	104.7
客数 (%)	102.7	101.8	105.0	96.3	99.0	104.4	101.6
客単価(%)	104.8	105.2	104.6	102.5	100.4	101.1	103.1
【既存店実績の対前年比較】							
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	上期
売上高(%)	104.8	104.4	106.6	96.7	97.3	103.2	102.1
客数 (%)	100.0	99.2	101.8	94.2	96.8	101.9	99.0
客単価(%)	104.8	105.3	104.8	102.6	100.5	101.3	103.2

業績サマリ B/S (前年度末比較)



(単位:百万円)

	2025年2月期末	2026年 2 月期 中間期末	前期末差	主な要因
資 産 合 計	6,184	6,314	130	
流動資産	3,292	3,294	2	
固定資産	2,892	3,019	127	— POSレジリプレース ── 新規出店による増加
負 債 合 計	3,289	3,237	▲ 52	
流動負債	1,708	1,810	102	
固定負債	1,581	1,427	▲ 154	― 長期借入金の減少
純 資 産 合 計	2,894	3,076	182	―― 中間純利益の計上
自 己 資 本 比 率	46.7%	48.4%	1.7P	
有利子負債残高	1,440	1,223	▲ 217	

業績サマリ C/S (前年度比較)



(単位:百万円)

	2025年 2 月期 中間期	2026年2月期 中間期
営業活動によるキャッシュフロー	225	356
投 資 活 動 に よ る キャッシュフロー	▲ 205	▲ 186
財務活動によるキャッシュフロー	▲894	▲357
現金及び現金同等物の期 末 残 高	2,885	2,455

・POSレジリプレース、新規出店

・長期借入金の返済による支出



矛盾を乗り越え、新たな可能性の扉を開く



■HUB JEF UNITED PUBペリエ千葉エキナカ店







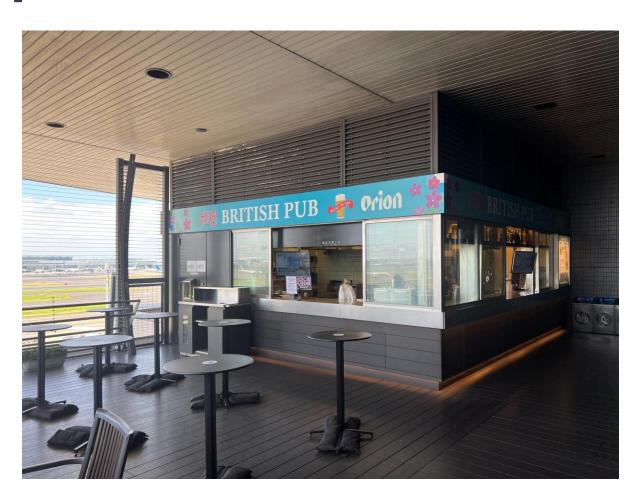
JR千葉駅の改札内に出店した、Jリーグチーム「ジェフユナイテッド市原・千葉」とのコラボレーション店舗。 店内のモニターでは同チームの試合を放映し、当該店舗のみのオリジナルメニューも提供。

- 所在地 千葉県千葉市中央区新千葉1-1-1ペリエ千葉エキナカ3F ※JR商業施設
- 規模 62席
- 開店日 2025年4月25日

期間限定出店



■HUB羽田空港第1ターミナル売店(2025年8月1日~11月3日(予定))





羽田空港第1ターミナル6階スカイステーションに 期間限定でオープン。沖縄をテーマとした限定メ ニューを中心に、HUBの一部メニューを提供。

店舗数 2026年2月期第2四半期末 店舗数108店舗



2026年 2 月期 出店数 1 店舗

2025年4月25日 HUB JEF UNITED PUBペリエ千葉エキナカ店



92店舗



15店舗



1店舗

北海道 東北	北海道、宮城県	3店舗 + 売店店舗1
関東	東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県	82店舗 + 売店店舗2
中部	愛知県、新潟県	5 店舗
近畿	京都府、大阪府、兵庫県	15店舗
九州	福岡県	3店舗

新規出店:JR商業施設



■HUBアミュプラザみやざき店







JR宮崎駅直結の商業施設「アミュプラザみやざき ひむかきらめき市場」にオープン。
Jリーグチーム「テゲバジャーロ宮崎」のサポーターも集まる地域密着店舗であり、当該店舗のみのオリジナルメニューも提供。

- 所在地 宮崎県宮崎市錦町1-8 アミュプラザみやざき ひむかきらめき市場 ※JR商業施設
- 規模 51席
- 開店日 2025年9月23日

新規出店: JR商業施設



■ HUB富山MAROOT店(仮称)



JR富山駅商業施設MAROOTへ富山県初の出店。

■ 所在地 富山県富山市明輪町1番231号 MAROOT 1F

※JR商業施設

■ 規模 約39坪

■ 開店日 2025年12月下旬予定

2026年2月期通期業績予想



		項目			単位	業績予想(通期)
売		上		高	百万円	11,300
営	業		利	益	百万円	470
経	常		利	益	百万円	450
当	期	純	利	益	百万円	420
当	株 期	当純	た 利	り 益	円	33.39





英国PUB文化を日本において広く普及させるため 英国風PUBを通じてお客様に感動をあたえる 「感動文化創造事業」を展開する







参考資料

創業50年ビジョン(2022-2030)

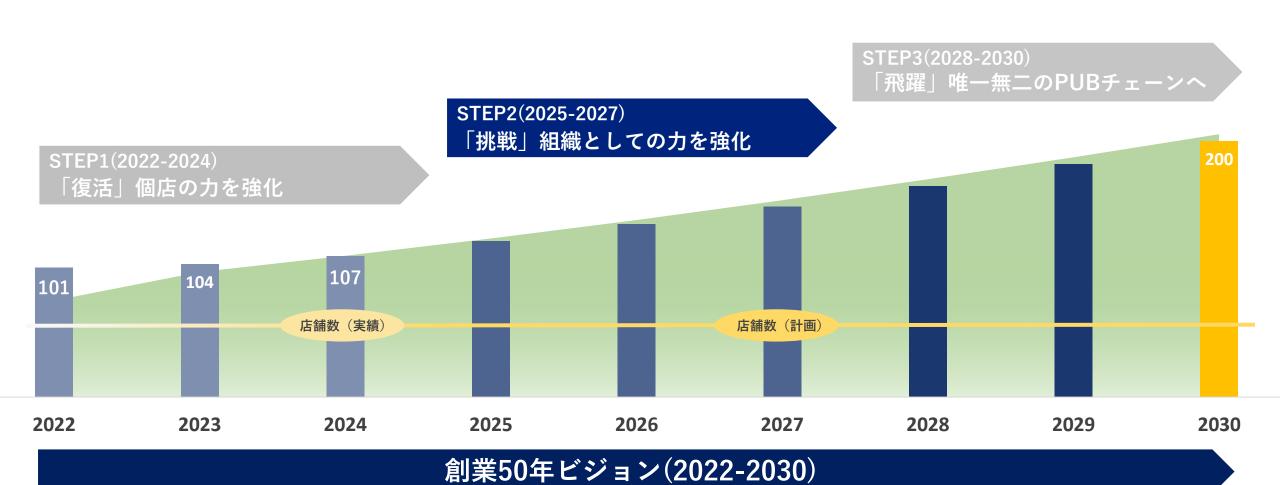


- ■名称:創業50年ビジョン(2022-2030)
- ■目標(ありたい姿) 心を豊かにするリアルコミュニケーションの場として PUBが社会において重要な役割を果たし続けている
- 出店ターゲットを47都道府県に拡大し厳選した200店舗体制を構築する
- ●積み重ねてきた価値を磨き続けると共に新たな感動体験を創造する
- ●業界の常識を覆す「最高の処遇」と「多様な働き方」を達成する
- 地域に愛される店舗を運営し、持続可能な社会の実現に貢献する
- ●企業価値を継続的に高め、魅力的な株主還元を実現する

中期経営計画(2025-2027)の位置づけ



創業50年ビジョン(2022-2030) 心を豊かにするリアルコミュニケーションの場としてPUBが社会において重要な役割を果たし続けている



「挑戦」組織としての力を強化



営業戦略

販売戦略

商品戦略

物流戦略

人財戦略

DX・システム戦略

資本・財務戦略

体験価値戦略

出店戦略

Smash 47 Station most as HUB

- 出店戦略「SmasH47」を軌道に 乗せる事を軸に、今後の全国展開 を見据えた体制を構築。
- 「客数増」を挑戦のキーワードとして、ターゲットを絞ったマーケティングを実行し顧客とのエンゲージメントをより強固にしていく。
- 処遇改善により、従業員の満足度 を向上させ、優秀な人財の確保と 定着を組織の活性化に繋げていく。

参考資料 (会社情報)



会 社 名 株式会社ハブ

設 立 1998年5月

事業內容 英国風PUB事業等

資本金 1億円

本 柱 東京都千代田区外神田3丁目14-10

代表者 太田剛

事業 H P https://www.pub-hub.com

企業 H P https://www.pub-hub.co.jp

ブランド一覧







参考資料 (株式情報)



証券コード :3030

発行済株式総数:12,830,200株

株主総数 : 12,200名

大株主の状況	
株式会社MIXI	20.02%
ロイヤルホールディングス株式会社	14.83%
株式会社久世	8.73%
みのりホールディングス株式会社	6.60%

※2025年8月末時点

参考資料 (沿革)

2024年8月



1980年3月	(株)ハブ(旧ハブ:(株)ダイエーの100%子会社)設立。ダイエー創業者中内氏が渡英の際、英国PUB文化に感動し、日本で広めたいとの想いからグループ内で事業化。
1986年11月	旧ハブを解散し、(株)キャプテンクックに事業継承。
1998年5月	(株) ダイエーホールディングコーポレーション(ダイエーグループの持株会社)が全株式を所有する子会社として(株)ハブ(現)を設立。
2006年4月	大阪証券取引所「ヘラクレス」に株式上場。
2010年2月	ロイヤルホールディングス(株)が当社の筆頭株主及びその他の関係会社となる。
2017年2月	東京証券取引所市場第二部へ市場変更。
2017年12月	東京証券取引所市場第一部銘柄指定。
2021年3月	ロイヤルホールディングス㈱が所有する当社一部株式をTech Growth Capital有限責任事業組合に譲渡。
2021年4月	第三者割当によりTech Growth Capital有限責任事業組合が当社の筆頭株主及びその他の関係会社となり、その親会社である㈱MIXIが当社のその他の関係会社となる。
2021年10月	今後の資本政策の柔軟性・機動性の確保と財務内容の健全性の維持を目的として、資本金の額を1億円に減少、資本準備金の額を1億円に減少。
2022年4月	東京証券取引所 プライム市場へ移行。
2023年10月	東京証券取引所 プライム市場からスタンダード市場へ市場変更。

Tech Growth Capital 有限責任事業組合の解散のため、㈱MIXIが筆頭株主及びその他の関係会社となる。

本資料の取扱いについて



- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ハブ(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものであり、当社株式の購入を勧誘するものではありません。当資料に記載された内容は、発表日時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。その他の掲載内容に関しても細心の注意を払っておりますが、不可抗力により情報に誤りを生ずる可能性もありますのでご注意ください。
- 無断での複製又は転用等を行わないようお願いいたします。

お問い合わせ先 株式会社ハブ 経営企画部 IR担当 TEL: 03-3526-8682 https://www.pub-hub.co.jp/contact/